

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年04月13日

計画の名称	新天町二丁目地区暮らし・にぎわい再生整備計画											
計画の期間	令和03年度～令和03年度(1年間)											
交付対象	宇部市											
計画の目標	<p>宇部市では、中心市街地にぎわい創出と地域経済の活性化を図るため、3つの重点整備地区を定めており、その1つである市役所周辺地区は、商業・オフィス・金融・官公庁が集積している立地を活かし、業務・商業施設の再編を促しながら、子ども・若者・高齢者など多世代が交流し、賑わい創出の拠点づくりをすすめることとしており、新天町二丁目地区は、当該地区に位置している。しかしながら、当該地区は平成30年12月末から大型百貨店やスーパーが相次い閉店するなど、にぎわいの喪失や商業の衰退等が懸念されている。</p> <p>そこで、閉店した大規模小売店舗を取得した民間事業者が、空きビルの空きフロアを活用し、若者を中心に、活動や就労等の支援を受けながら、様々な人と交流できる若者支援施設（公共的機能）や不特定多数の人が利用できる健康関連施設（商業的施設）等を整備することで、利用者の利便性向上とにぎわい交流の創出を図る。</p>											
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）	356	A	356	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A + B + C + D)	0 %

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値			
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値	
	R2当初	R3末	R4末					
1	複合施設として再生することにより、中心市街地のみならず、市内外から人が訪れ、来街者が増加する。1,463人／日 1,700人／日 休日の歩行者通行量を定点観測（2地点 AM10時～PM6時）する。来街者数（歩行者通行量）（8時間） 歩行者通行量（8時間）	1463人	人	1700人				

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靭化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																							
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況				
		一體的に実施することにより期待される効果																					
		備考																					
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	字部市	間接	字部市	-	-	新天町二丁目地区暮らし ・にぎわい再生事業	賑わい交流施設 600m ² 、商 業施設 1,105m ²	宇部市						356	1.28	-				
																		356					

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	【新天町二丁目地区暮らし・にぎわい再生整備計画】事後評価委員会にて事後評価を実施
	事後評価の実施時期 令和5年3月
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	子育て世代や若者などの新たな層の集客につながり、利用者の利便性向上とにぎわい交流の創出が図られた。
定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況（必要に応じて記述）	公益施設を整備することによる空きフロアの有効活用に加え、公益施設の集客力に期待した民間テナントの進出により、施設内の空きフロアの解消に繋がった。 上記の結果により、空きビル再生だけに留まらず、まちのにぎわい創出に向けた足掛かりとなり、中心市街地活性化事業の成功事例と言える。
特記事項（今後の方針等）	
<p>・成果目標を宇都市中心市街地活性化基本計画に則り設定したが、新型コロナウイルス感染症の蔓延等により、事業効果の検証に疑義が生じる結果となった。よって、今後は、多くの視点から成果目標を設定することで、より正確な事業効果の検証及び結果の収集に務め、今後の事業に活かしていく。</p> <p>・本施設周辺では、常盤通りにぎわい交流拠点整備（子育て支援拠点、くつろぎ交流機能、民間施設）や市新庁舎建替え及び周辺整備（市民活動支援機能、交流機能）、また「ウォーカブル」なまちづくりにも取り組んでおり、令和8年度までに完成予定である。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症の規制緩和もすすみ、中心市街地歩行者通行量の回復も見込まれる。</p> <p>よって、本施設周辺の整備事業完了後は、中心市街地のみならず、市内外から人が訪れ、来街者が増加することが想定されることから、今後は、これら整備事業と連携した回遊性のある街並み形成に取り組んでいく。</p>	

目標値の達成状況				
番号	指標（略称）			
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因		
1	中心市街地における歩行者通行量（休日）		新たな層の集客にはつながったが、新型コロナウイルス感染症の蔓延により外出の機会が大きく減少したことから、通行量（実績）は目標値に及ばなかった。	
	最終目標値	1700人		
	最終実績値	1052人		